



完全なものとなりなさい

戦争が終わりません。紛争地域は広がり、そして毎日たくさんの方が亡くなっています。人には叡智があり文明も進み、多くを学んでいるはずなのに、戦争を終わらせるすべを知らないのです。政治をつかさどる人、国の方針を決定する人はどうして争いを止めることができないのでしょうか。ついこのように、自分とはかけ離れたところに責任があるように考えてしまいます。でもそうなのでしょ

うか。ふと我に返ると、自分の意にそぐわない事があると人に怒りを向けたり、自分の不機嫌を抑えることができず心無い言葉を人に向けたり、私の中にも戦いの種はたくさんあります。それを戦いにしないためには日々起こる不快さを、自分も他者も弱さを持っているのだからと受け流す柔軟さと赦す心が必要だと思います。でも赦すとはとても難しいのです。あの時、あの人にこう言われた、なんてことを意外とずっと覚えていて、その心の傷が今の私の行動パターンを制限して

いたりするのです。

聖書でキリストは七の七十倍、つまり無限に赦しなさいと仰っています。でも不完全である人間には赦すことは難しいです。しかしキリストは「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなた方も完全な者となりなさい」とも仰せになりました。不完全なままでよいとは仰らないで、神様のように完全な者になりなさいと言われるのです。弱さだらけの私たちに完全な者になることを求めておら

れます。完全な者となり、赦す心を持つことができれば、私の心は不安や痛み、敵意などから開放されるのでしょうか。それを神様が望んでおられるのです。弱さを受け入れることができますように。

(院長 山中淳子)



聖母月 ともに祈るひととき

5月25日(土)聖母月にあたり、入院中の患者さんと職員、シスターたちが集い、世界の平和と病気で苦しむ人の回復を願って、ロザリオの祈りを捧げました。聖歌「天のきさき」では思いもよらない男声の響きに驚きつつ、笑顔に包まれた集いになりました。



避難訓練 もしもの時に備えて

5月24日(金)夜間の火災発生を想定した避難訓練を実施しました。夜勤帯はスタッフの数が少なく、連絡を受けてから応援スタッフが駆け付けるまで、かなりの時間を要すこと、停電の場合は照明がなく、避難誘導が難しくなること、さらに天候不良の場合は避難方法、避難場所も考慮する必要があります、多くの課題があることを考えさせられました。まずは火事を出さないよう、定期的な防災機器の点検、医療機器や電気器具のメンテナンス、コンセントの掃除を行うことなど、普段できる対策をおろそかにしないようにしたいものです。

最後に防災会社の方から消火器の取り扱いについて説明を受け、実際に消火する練習をして訓練を終わりました。





第23回 院内学術研究発表会

6月20日(木)、聖マリア病院各所と聖マリアの園、みみらくの里、緑の園をオンラインでつなぎ、聖マリア病院院内学術研究発表会が開催されました。今回で23回を数え、コロナ禍以来、オンラインでの開催が続いています。各演題とも、現実的な課題に対する取り組みで、興味深い内容でした。

- ①当院外来でフリースタイルリブレを始められる方へのパンフレットを作成して
～現状と課題～ 聖マリア病院 外来看護部
- ②非常時の『食事訓練』の必要性について 聖マリアの園
- ③よりよい看取りを行うために
～『看取りに向けてのチェックシート』と『看取りのパンフレット』の活用～
聖マリア病院 病棟看護部
- ④特定行為の当院での活動について 聖マリア病院 特定看護師



研修医紹介



患者に寄り添う
医療を目指して

Profile

藤田 哲世 先生 Dr. Fujita Tessei

- ◇出身地…福岡県
- ◇趣味・特技…ツーリング、サイクリング
ボードゲーム
- ◇志望科…脳神経外科
- ◇研修期間…令和6年5月19日～7月13日

久留米の聖マリア病院から2ヶ月間、地域研修できました、初期研修医の藤田と言います。久留米の聖マリア病院に来院される患者さんはほとんどが急性期の患者さんであるのに対し、こちらでは、ほとんどが慢性期や回復期になります。そのため一朝一夕で経過が変わることは少なく、長期的な経過で患者さんに寄り添っていくような姿勢が基本となります。久留米で経験しえない、患者に寄り添う形の医療をその片鱗だけでも学べればと思います。

2ヶ月間お世話になります。研修医2年目の富田と申します。短い間ですがよろしくお願いします。五島の研修はイイ、と先輩から聞いてまいりました。それは風土、文化、ごはんだけでなく、久留米でできなかった経験と研修を行うことができるからだ実感する毎日です。まだ教わるばかりではありますが、2ヶ月後にはきっともう少しましになれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

ここでしかできない
経験と研修

Profile



富田 正章先生 Dr. Tomita masaaki

- ◇出身地…熊本県
- ◇趣味・特技…走ることが好きです。
五島でもちょろちょろ走ってます。
- ◇志望科…救急科
- ◇研修期間…令和6年月16日～8月10日



6月末で出向の期間を終えた理学療法士
荒巻太一さんに五島での生活について
語っていただきました。

貴重な経験ができました

振り返ると、あっという間の3ヶ月間でした。こちらに来るときに、フェリーを予約しておらず、慌てて連絡すると、偶然1席だけ空いていたのが、3月31日の最終便でした。予定より2日後の夜遅くに初めて五島の土を踏みました。かなり焦っていた事を今でも覚えています。五島聖マリア病院での勤務は、最初は緊張していましたが、スタッフの皆さんが優しく教えてくださったので、不自由なく過ごすことができました。働いている中で大きく異なっていたことは、地域包括病棟は2か月を目途に退院していくことです。回復期にある人たちにとっての、1日に行うリハビリの重要性を再認識することができま

した。また、社会福祉が不十分で、環境調整が困難なケースもあるなど、退院後の生活について考えることが多く、その為にはどういうリハビリが必要になるのかを指導して頂きました。

五島列島は自然豊かで海や川など様々なところにドライブに行きました。福岡では見ることができない絶景ばかりでとても心が癒されました。また、仕事終わりや休日にはイカ釣りに行って、2.1kgのアオリイカを釣ることができました。久留米に帰ってもイカ釣りは続けたいと思います。

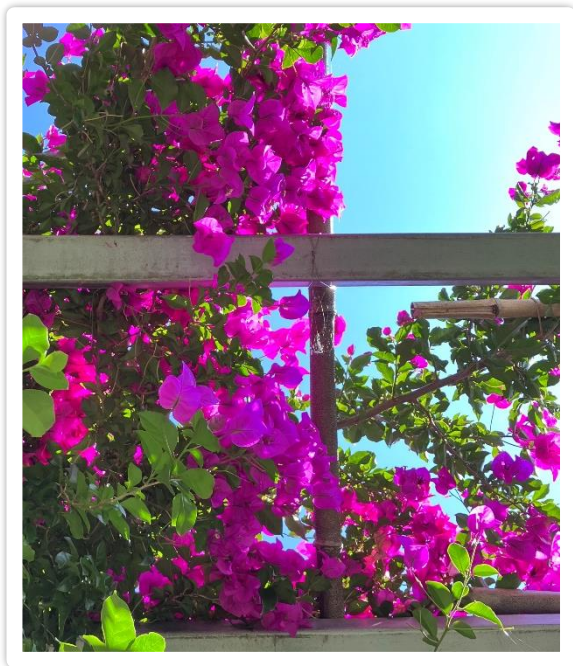
この3ヶ月間は本当に貴重な経験となりました。また、五島に来れる機会があればもう一度行きたいと思います。短い間でしたがお世話になりました。皆さんお元気で。

7月と8月
の行事

- 7月14日(日) まごころひろば
7月18日(木) お告げのマリア修道会
下五島地区 施設職員研修会
8月15日(木) 外来診療休診

次回発行日は9月1日です。よろしくお願いいたします。

今月のイチ押し



梅雨の晴れ間にブーゲンビリアの花を眺めました。雨が降るとに花の色が濃くなっていきます。夏空が待ち遠しいです。

編集者より

夏至が過ぎ、今年も折り返しとなりました。早いものです。新年度がスタートしてからいろいろな立場の人が聖マリア病院を訪れて医療に携わり、患者さんと交流しています。体験や学びを積み重ねながら、近い将来、医療人として第一線で活躍することでしょう。新しい人や環境の変化を上手に受け入れることができると感じます。いろいろな考え方に対する柔軟性と自分らしさをバランスよく保ちながら、医療従事者としての質を高めていくことができますように。(編集者)